

12・8 平和学習資料

12月8日と太平洋戦争

■12月8日とは…

「大本営陸海軍部発表。12月8日午前6時、帝国陸海軍は今8日未明、太平洋において米英軍と、戦闘状態に入れり」

1941年12月8日朝、日本の国民はラジオの臨時ニュースに驚かされた。軍国主義の道を突き進む日本は、ついに米・英に宣戦布告。ハワイの真珠湾攻撃とマレー半島のコタバルへの奇襲上陸によって、すでに泥沼化していた日中戦争を「大東亜共栄圏」建設というスローガンのもと、日本国民と多くのアジアの人びとを巻き込んだ悲惨な太平洋戦争へと拡大した。

Photo # 80-G-32456 USS California sinking at Pearl Harbor, 7 December 1941



▲真珠湾奇襲 日本軍はハワイの海軍基地の襲撃に成功するが、宣戦布告が遅れ、アメリカ国民の憎悪を買った。

■すでに始まっていた戦争

大陸進出に活路を求めた日本は、1931年の満州事変を皮切りに中国への侵略を一層進め、1937年7月の盧溝橋事件をきっかけに日中戦争へと突入した。満州事変から1945年の終戦までが、ドイツ、イタリアとともにファシズム陣営の一員として軍国主義国家日本が推し進めた一連の侵略戦争であり、「15年戦争」「アジア・太平洋戦争」とも呼ばれる。日中戦争は、中国人民の抗日民族統一戦線による激しい抵抗により長期化し、日本は南方に進出して戦争継続に必要な資源を獲得しようとする中で米・英との対立を深めるとともに、国民生活は厳しい統制下に置かれ、国家総動員法によって戦時体制一色になっていった。



日米開戦を報ずる新聞記事

米英に宣戦布告し、太平洋戦争が開始。(日本の最後通牒は攻撃30分前にわたるはずだったが、日本大使館の不手際で開戦1時間後となる)

真珠湾攻撃

太平洋戦争における日本海軍の最初の一撃。連合艦隊司令長官山本五十六が立案した作戦計画で、1941年12月8日、日本の海軍機動部隊空母主力6隻がハワイ真珠湾を攻撃、アメリカ海軍の主力戦艦8隻と航空兵力に大打撃を与えた。この結果、西太平洋の制海権を日本が握り、東南アジア侵攻作戦を一挙に押し進めた。

しかし真珠湾攻撃は、対米宣戦布告前に行われたため、「だまし討ち」としてアメリカ国民の怒りを買ひ、「Remember Pearl Harbor (真珠湾を忘れるな)」が対日戦の合言葉となった。

■太平洋戦争の経過

開戦と同時に日本軍は、東南アジア各地を占領。5ヶ月の間に、マニラ、シンガポール、ジャワ、ビルマ（ミャンマー）を確保し、戦局を優位に進めた。これは、日本軍が主として士気の低い植民地軍を相手としていたこと、米英の植民地支配からの「解放」を唱える日本の「大東亜共栄圏」のスローガンに、当初東南アジア住民の中に一定の共感が生まれて協力的だったこと、米英がヨーロッパにおけるナチスの打倒を第一に考えていたことが背景にあった。しかし、戦争継続能力を裏付ける資源や生産力などあらゆる面で、日本は圧倒的にアメリカに劣っており、軍事的な成功も一時的なものにすぎなかった。

■敗戦へ

日本軍の攻勢も1942年前半までが限界であった。この年4月には日本本土が初空襲され、6月にはミッドウェー海戦で大敗して太平洋の制海権を奪われ、戦局は大きな転機を迎えた。そして43年2月には日本占領地域の最東最南端のガダルカナル島から撤退し、以降連合軍に次々と重要拠点を占領され、44年の7月にはついにサイパン島が陥落、日本本土はB29による空襲圏に入るようになった。45年2月には硫黄島が陥落、本土空襲が一層激しくなる中、日本の敗戦と本土決戦は時間の問題となった。敗色が決定的にもかかわらず、国体の護持を最重要課題と考えた日本政府は、有効な終戦措置を取らず、米軍は4月に沖縄に上陸。本土決戦への時間かせぎ、捨て石とされた沖縄では、年齢、性別を問わず、非戦闘員の地元住民が多数戦闘に巻き込まれ、米軍との戦闘のみならず、天皇の軍隊である日本軍のもとで死に追いやられた。8月6日に広島に、9日に長崎に原子力爆弾が投下され、同じ9日にソ連が対日参戦したことによって、ようやく日本は8月15日ポツダム宣言を受諾し、無条件降伏をするに至った。

太平洋戦争の人的被害についての正確な数字はわからないが、日本側では一般国民を含めて250万人前後が死亡あるいは行方不明となり、日本の侵略を受けたアジア諸国での死者は1800万人に上ると考えられている。

大東亜共栄圏

太平洋戦争の突入に向け、日本がその戦争行為を正当化するために使用したスローガン。欧米の東南アジア支配に変わり、アジア人自身による共存共栄の新秩序をつくりだすと称して日本の東南アジア侵略を合理化した。日中戦争さなかの1938年11月第1次近衛内閣は「日満支」一体の「東亜新秩序」建設を声明していたが、第2次近衛内閣成立にあたり、40年7月決定の基本国策要項は「大東亜新秩序」をうたった。外相松岡洋右がこれを「大東亜共栄圏」といいかえて以降スローガンとして広まった。実際には、日本側による東南アジア資源の一方的収奪の中で「大東亜共栄圏」は「大東亜共貧圏」に変わっていった。

●人的被害

(太平洋戦争全体)

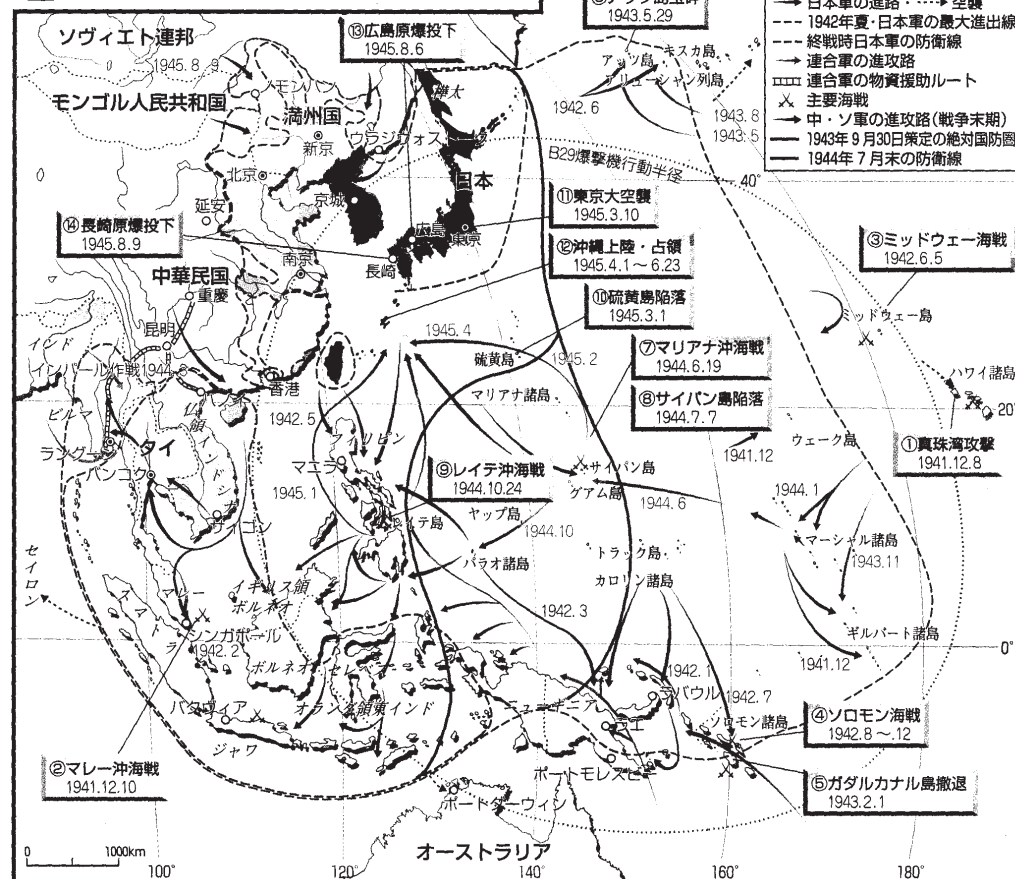
(人)	死亡者	負傷・行方不明
軍人・軍属	155万5308	30万9402
一般国民	29万9485	36万8830
総数	185万4793	67万8232

(『太平洋戦争による我が国の被害総合報告書』)

【出展】新詳日本史図説(浜島書店)

日本歴史館(小学館)

1 太平洋戦争の展開(1941~1945年)



東条英機内閣 (1941.10~44.7)

- 1941.12-8 マレー半島コタバル奇襲上陸
ハワイ真珠湾奇襲攻撃
対米英宣戦布告
- 1942.1 マニラを占領
- 2 シンガポールの英軍降伏
- 3 ジャワの蘭印軍降伏
- 4 米機日本本土初空襲
- 5 コレヒドール島の米軍降伏
- 6 ミッドウェー海戦で敗北
- 1943.2 日本軍、ガダルカナル島撤退
- 5 アッツ島の日本守備隊全滅
- .11 大東亜会議開催 カイロ会談
- 1944.7 インパール作戦中止 サイパン島の日本守備隊全滅

小磯国昭内閣 (1944.7~45.4)

- .10 レイテ沖海戦で日本海軍敗北
神風特別攻撃隊の出撃
- 1945.3 硫黄島の日本守備隊全滅
- B29 東京大空襲
- .4-1 米軍 沖縄本島に上陸

鈴木貫太郎内閣 (1945.4~8)

- 1945.8-6 広島に原爆投下
- .8-8 ソ連 対日宣戦布告
- .8-9 長崎に原爆投下
- .8-14 ポツダム宣言受諾
- .8-15 天皇 終戦の詔勅放送